

鳥取県経済同友会東部地区 8 月（納涼）例会報告

- 1 日時 令和 6 年 8 月 2 6 日（月） 1 8 : 0 0 ~
- 2 場所 ホテルニューオータニ鳥取「鶴の間」
- 3 講演 「移住者が定住者になるためのコツ
～シカとイノシシで見てきた中山間地問題を通して」
講師 鳥取県議会議員 山本暁子 氏
- 4 出席者 会員 2 5 名
- 5 講演要旨

祖父母の暮らす鳥取市の山奥の国府町楠城集落に大阪生まれ東京育ちの夫の勧めで 2 0 1 8 年に移住した。当初は 3 年間の移住の予定であった。

山奥で在宅ワークをしながら、野菜等を栽培していたが、収穫間近の野菜をシカやイノシシに食べられ、獣害に悩み狩猟免許を取りたいと思った。

地元の公民館で狩猟免許の話をしたら、公民館職員さんの知り合いの猟師さんを紹介され、さらに、市役所の国府町支所で補助金等いろいろ説明を受けるなどした結果、ハンターとしての狩猟免許を本当に取ることになった。

罠にかかったシカやイノシシを多い年で、年間 2 0 0 頭とったこともある。捕獲したシカやイノシシは、自分でもさばくが、多くは若桜町の加工場に搬入する。この加工場は質の良いジビエの肉を提供することで全国的にも有名である。

シカは山間部の草を食べつくし、山肌が見えるようになると雨で土が流され災害の原因にもなる。鳥取県東部は、全国でもシカの生息密度が高い地域である。

狩猟をきっかけに、いろいろな人と出会い、山奥で暮らすことは、大変な部分はあるが、自然相手の暮らしが魅力的で、いつのまにか定住してしまった。現在は、人と人のつながりで、今年、鳥取県議会議員にもなった。

著書「初めてでも大丈夫 狩猟入門」をきっかけに、全国で講演も行っている。

会場から、狩猟にあたって危なかったことはあるか、たくさん捕獲できた時は如何するのか等の質問があり、クマにであった話、ジビエの販売等の話をされた。



【講演する山本暁子氏】